

たん じょう
**たいみー誕生
ものがたり**

こい もの がたり
ハートの入り江の**恋**物語



ミータン



たいたろう
鯛太郎



たいみー

龍仙山でうまれたみかんのミータンは
めのまえにひろがる
うみがだいすき。

こんなにきれいなうみのむこうには
きつと、もっとステキが
あるはずだわ。
でも…。

おもわずためいきをついた
ミータンに
ともだちの力モメが
フワリとんできていいました。

「あれあれ、
いつもげんきなミータンが
ためいきなんかついて、
どうしたんだい？」

すると、ミータンは
「わたしはみかんやまからながめる
このうみがだいすきよ。
だから、もっととおくも
みてみたいの。」
と、つぶやきました。



カモメはたいせつなともだち
ミータンのために
なにかからになってあげたい
とおもいました。

「ミータン、
ボクがはなしてあげるよ」

そついうと

カモメはくちばしで

「えいっ！」といきおいよく

ミータンをえだからきりはなしました。



「わーい。」

えだからはなれたミータンは

□□□□ □□□□:

げんきよく

ころがりました。



それを見つけた

いたずらおさが

びょんぴょん ぴょんと

とびかかってきました。

「ギャー、たいへん！」

ミータンはおおいそぎで

やまをころがりてにげました。



あわててにげるミータンの
ころがるさきに

あいす
愛洲の剣の達人が
ちようど剣のもうれんしゅうを
していました。

こまったミータンに

きづいた達人は、

すばやくひろいあげて

「だいじょうぶかい？」

と、やさしくはなしかけてくれました。

たっしん
達人の剣さばきにおどろいた

いたずらおさは

「ごめんなさーい。」と

やまへにげかえっていきました。



剣^{けん}の達人^{たつじん}はこれまでのミータンのはなしをきくと

「それでは、これにのりなさい。」

と、とろろのふねを

つくってくれました。

「ありがとう。」

わたし、がんばります!」

こうしてミータンは

こかしやがわ
五ヶ所川をくだり

ゆめにまでみた

ひろいうみをめざして

げんきにしゅっぱつしました。

しばらくしてながれついた入り江^{いりえ}で
カニや貝^{かい}たちにあいました。

「どこへいくの？」

ときかれたミータンは

「あのうみのむこうにいくの。」
と、げんきよくこたえました。

「な、なんだって？」

ボクらの

いせえびじいさまの

はなしでは、

それはそれは

おそろしいまものが

すんでるって…。

それでもいくの？」

「まもの…？」

ミータンはこわくなりました。

：でも、ここであきらめたくは

ありません。

「それでもいくわ！」

カニや貝^{かい}たちは

ゆうきあるミータンに

おまもりとして五ヶ所湾^{ごかしよわん}でとれた

アコヤ貝^{がい}の真珠^{しんじゆ}をプレゼントしました。

ミータンは

なかまのおかげでゆうきいっぱい！

みんなにみおくられながら

ふねにのっておおきなうみへこぎだしました。

がんばれミータン！



アオサ畑のおだやかな入り江をすぎると
だんだんなみがたかくなってきました。
ミータンは、カーヤ貝たちからもらった
真珠のおまもりを
ぎゅっとにぎりしめました。

そこへ、おおきななみがザブーン！
ミータンはふねからうみへ
なげだされてしまいました。
「たすけて〜！」

あれたなみしぶきのなか
ミータンは
ひっしになって
おおごえでさけびました。

ふとみると
おおきなサメがミータンをねらって
まわりをグルグルおよいでいました。
ミータンは、真珠のおまもりを
ギュッとにぎりしめながら
おもわず「キャー！」とさけびました。

すると、イルカたちが
ミータンのまわりをとりかこんで
おおきなサメから
まもってくれているでは
ありませんか。

イルカたちに
おどろいたサメは「これはたまらん！」と
いそいでにげていったのでした。



「あぶなかったね。ケガはない？」

しんせつなイルカたちは

ミータンにやさしく

はなしかけました。

「ありがとう。おかげでたすかりました。」

ミータンは

イルカたちのせなかに

のせてもらいながら

いままでのたびのはなしをしました。

「…そうだ。

このうみをずーっといくと

とってもステキなところがあるんだ。

ボクたちといっしょに

キミもいってみたいかい？」

「まあ、うれしい。

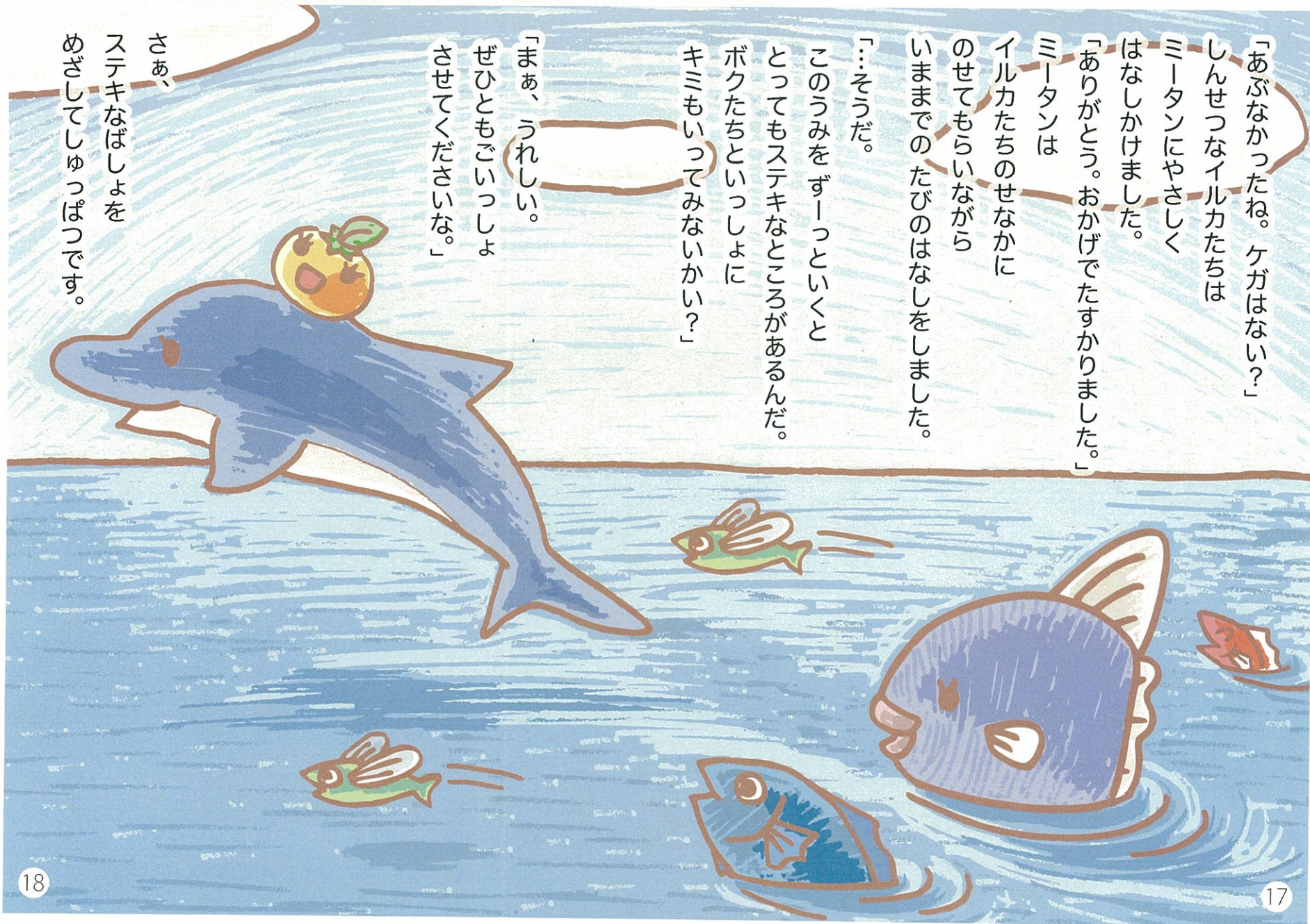
ぜひともごいっしょ

させてくださいな。」

さあ、

ステキなばしよを

めざしてしゅっぱつです。



とちゅうで

クジラに

あいさつをしたり

マンボウともだちになったりもしました。

そして、カツオやマグロと

おはなしをしながら

イルカとミータンは

たのしくすみしました。

「ミータン、ここだよ。」

イルカたちがあんないしてくれたのは

キレイなハートのかたちをした

入り江^えでした。

「まあ、ステキ！」

けしきにうつとりしていると

ミータンをのせたイルカがいました。

「ミータン、ここに

ボクのともだちがいるんだ。

いっしょにあそばない？」

「ええ。もちろん！」

たのしいことが

だいすきなミータンは

げんきにこたえました。

こうして、

イルカたちがよんできたのは

ちよっぴりはずかしがりやの

鯛^{たい}の鯛^{たい}太郎^{たろう}でした。

ミータンは鯛太郎やさかなたちと

じかんをわすれるくらいたのしくあそんでいました。

ところが：

とつぜんそらがくろいくもにおおわれたかとおもうと

つよいかぜがふきはじめ

なみがたかくなってきました。

あらしです！

ビューツ。ゴロゴロ…ピカッ！

おおきなかみなりと

はげしいあめで

みんながバラバラになりました。

ミータンはいっしょうけんめい

もがきますが

このはのように

うずにひきこまれそうです。

いままで

こころのささえだった

たいせつな

真珠しんじゅのおまもりが

ありません。

このまえ、

サメにおそわれたときに

うみのそこへ

おとしちゃっていったのです。

剣の達人につくってもらったふねも

カニや貝たちからもたった

真珠のおまもりも

なくしてしまったミータンは

きゆうにさびしくなって

シクシクないてしまいました。

そのとき、うみのなかから

「大丈夫？」と、鯛太郎が

ミータンをたすけにあらわれました。

「ボクがきたから

しんぱいしないで。」

鯛太郎のやさしいこえに

ミータンはホツとして

なみだをふきました。

「鯛太郎さん、ありがとう！」

「い、いえ…」

はずかしがりやの鯛太郎は

ポツとほっぺをあからめました。

どうやら鯛太郎は

たいたろう

ミータンにこいをしているようです。

まわりにいるみんなにはやしたてられて

たいたろう

鯛太郎はミータンに

こくはくをしました。

「ミータン。

ボクのおよめさんになつてください。」

ミータンは

すこしはずかしがりながら

「はい。」

とこたえました。

まわりのみんながいつせいに
「おめでとー!」と
よろこびのこえをあげました。



ハートの入り江^{いえ}で
またひとつ
こいがうまれました。

それから
さくらのあまい
かおりがただよう
はるになり
ミータンと鯛^{たい}太郎^{たろう}にも
まちにまった
あかちゃんが
うまれました。

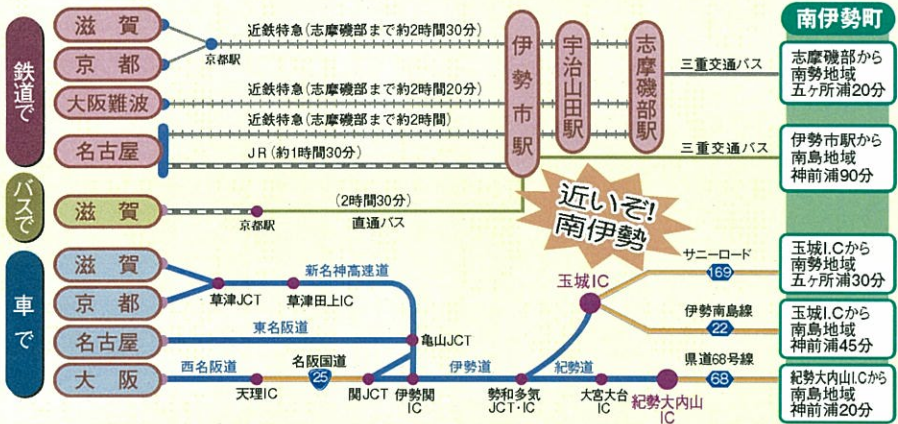
なまえは「たいみー」

おとうさんの「鯛^{たい}」と
おかあさんの「みかん」
ふたりのなまえをもらった
げんきいっぱい
あかちゃんです。

あいきょうたつぷりの
かわいい「たいみー」と
鯛^{たい}太郎^{たろう}とミータンの三人^{さんにん}は
いつまでも
うみのなかまたちといっしょに
このしぜんいっぱいの南伊勢町^{みなみいせちやう}で
なかよくたのしくくらしめたとき。



アクセスインフォメーション



園内には4つの展望台がある。
 どの景色もステキなだけで、私の一番お気に入りスポットは、お父さんがお母さんにプロポーズした「ハートの入り江」だなぁ。
 みんなも素敵な人と訪れと、恋が実るかも…。



美味しいものがたくさんとれて、見どころがいっぱいの南伊勢町が大好き!
 南伊勢町の「ステキ」を、日本全国にもっと広めたいみ〜!

からだ 南伊勢町の魚 たい鯛
 とっても美味しい魚だよ。南伊勢町は鯛の養殖が盛なんだ!

かお 南伊勢町の木 みかん
 南伊勢町産のみかんは、甘さとコクに自信あり!

おなか 南伊勢町のパワースポット ハートの入り江
 入り江が「ハート」の形をしているんだよ。みんなにたくさんの幸せが訪れますように…。

ポシェット 南伊勢町の花 さくら桜
 南伊勢町の花と言われているの。春の国道は舞散る花びらが印象的だよ!